

所属・職位	医学部看護学科実践看護学講座・准教授	
氏名	小野 光美 (Ono Mitsumi)	
取得学位	博士 (医学)、島根大学、2016年3月	
SDGs目標	 	

研究分野	高齢者看護学
研究キーワード	高齢者, End-of-Life care, 終末期
研究内容	<p>●「介護老人保健施設における看取りに関する研究」</p> <p>高齢者の終末期に関する研究として、特に、介護老人保健施設での看取りについて取り組んできた。研究内容としては、介護老人保健施設で実際に看取りを経験した家族を対象にケアの実際やケアに関する評価 (満足感や課題)、家族自身への影響についての面接調査、看取りケアにかかわるすべての専門職に対するケアの実際と評価、自身の揺らぎと満足度、多職種・他機関との連携についての量的調査、質的調査等である。介護老人保健施設は中間施設として在宅復帰・在宅療養支援の役割・機能があるため、看取りにおいても、利用者 (高齢者) は繰り返し施設を利用する中で歳を重ね、なじみの関係 (利用者同士やスタッフ) の中で、リハによる身体の調整を行いながら、最期までいつもの生活を送ることができる特徴がある。その過程の中で、どのように利用者 (高齢者) 自身の意思を理解し、住み慣れた地域で、生ききることを支えるのが、現在の研究の中心である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・科研費基盤研究 (C) 平成25年度～平成28年度、介護老人保健施設における高齢者と家族の意思を引き出すケアモデルの開発 (研究代表者)</li> <li>・科研費基盤研究 (C) 平成29年度～令和4年度 (延長2年を含む)、地域包括ケアシステムにおける高齢者の終末期を支える看取りケアモデルの開発 (研究代表者)</li> </ul>
研究業績・アピールポイント	<p>●高齢者の終末期に関する研究</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) Mitsumi Ono, Hideyuki Kanda, Yuko Takeda, Sachiko Hara (2015) : Characteristics of Geriatric Health Service Facilities Designated as Sites of Death, Health, 7, 1275-1282.</li> <li>2) 小野光美 (2015) : 介護老人保健施設の看取りにおける看護管理者の実践内容, 日本看護倫理学会, 7(1), 68-76.</li> </ol> <p>●看護倫理に関する活動</p> <p>日本看護倫理学会臨床倫理ガイドライン検討委員会のメンバーとして、ガイドラインの作成および管理者応援研修を開催してきた。研究に発展させる途中である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 日本看護倫理学会臨床倫理ガイドライン検討委員会編 (2018) : 看護倫理ガイドライン : 医療や看護を受ける高齢者の尊厳を守るためのガイドライン・身体拘束予防ガイドライン, 看護の科学社.</li> <li>2) 常見藍, 三重野英子, 小野光美 (2020) : 急性期病院での老年看護において看護師の倫理的感受性を育む取り組み, 日本老年看護学会第25回学術集会, 148.</li> </ol>